

科目・コース（ユニット）名：行動科学Ⅱ：コミュニケーション論
英語名称：Behavioral ScienceⅡ：Basic communication

【担当責任者】大谷晃司、青木俊太郎、安田恵

【連絡先】igakukyo@fmu.ac.jp

【開講年次】1年, 【学期】後期, 【必修／選択】必須,

【授業形態】講義・演習

【概要】個人対個人のコミュニケーションは社会生活の基本である。この授業では、今後の大学生活及び卒業後の医療活動における他者との関わりを見据えて、自他ともに尊重するコミュニケーションの基本を自ら考えながら学ぶ。前半でコミュニケーションの在り方を心理的、社会的、行動科学的側面から学び、後半で診断のために必要な情報を医療専門職として患者さんから収集する技能の基礎を修得する。

【学習目標】

- 1) 自他を尊重する表現や共感的な傾聴の基本技法を理解し、実践できる。
- 2) 他を尊重する表現や共感的な傾聴の基本技法を用いながら、定型的な身体症状を訴える人から診断に必要な情報を適切に聞き取ることができる。

【教科書】指定しない。

【参考書】

- ・「医療面接技法とコミュニケーションのとり方（新・基礎臨床技能シリーズ）」
福島統著 メジカルビュー社
- ・「入職1年目から現場で活かせる！こころが動く医療コミュニケーション読本」中島俊
著 医学書院
- ・「ケアする人の対話スキル ABCD」堀越勝著 日本看護協会出版会
- ・「医療スタッフのための動機づけ面接法 逆引き MI 学習帳」北田雅子、磯村毅著
医歯薬出版株式会社

【成績評価方法】

実技試験受験資格は、下記の①②を満たしていること。

単位認定要件は、③提出物と④実技試験の両者が合格点に達していること。

科目の成績は、③、④及び授業態度を総合的に評価する。

- ① 行動科学授業（Aブロック：第1～7回）の3分の2以上の出席と全ての課題提出
- ② 医療面接授業（Bブロック：第8～13回）の3分の2以上の出席
- ③ 行動科学授業（Aブロック：第1～7回）の提出課題の内容
- ④ 医療面接実技試験（第14～16回に実施）の合格

【学習上の注意事項】

毎回演習を行うので、原則として毎回の出席は必須と考えて欲しい。

医療面接実技試験では、身だしなみ、態度も評価の対象となる。

【垂直的統合授業の実施内容】前半で主に学ぶ行動科学と後半の内科的診断学を融合した実践科目である。修了試験では、模擬患者さんを相手に一人一人医療面接を行う。

【水平的統合授業の実施内容】医療面接演習は、「痛み」を主症候として診断する複数の疾患内科の分野を統合したものとなる。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】①Aブロックの授業は、行動科学の最新の研究成果に基づいて構築している。②Bブロックでは、Aブロックで学んだことを模擬患者との一対一の面接に応用し、実践する。第4学年で学ぶ初診患者との医療面接を1年生で経験する点が本学独自の試みである。

【授業スケジュール】

回数		年/月/日	曜日	時限	内 容	担当教員名
1	A ブ ロ ッ ク	2026/10/5	月	4	(講) 行動科学を学ぶ意義 1	竹林由武 青木俊太郎
2		2026/10/5	月	5	(講) 行動科学を学ぶ意義 2	竹林由武 青木俊太郎
3		2026/10/19	月	2	(演) 非言語的コミュニケーション	青木俊太郎 竹林由武
4		2026/10/19	月	3	(演) 傾聴と共感：①質問	青木俊太郎 竹林由武
5		2026/10/26	月	1	(演) 傾聴と共感：②言い換え	青木俊太郎 竹林由武
6		2026/10/26	月	2	(演) 傾聴と共感：③要約	青木俊太郎 竹林由武
7		2026/10/26	月	3	(演) 傾聴と共感：④是認・感情の反映	青木俊太郎 竹林由武
8	B ブ ロ ッ ク	2026/11/9	月	1	(講) 診断のための医療面接 1「頭痛」	安田 恵
9		2026/11/9	月	2	(演) 診断のための医療面接 1「頭痛」	安田 恵
10		2026/11/9	月	3		
11		2026/11/16	月	1	(講) 診断のための医療面接 2「腹痛」	中村光輝
12		2026/11/16	月	2	(演) 診断のための医療面接 2「腹痛」	中村光輝

13		2026/11/16	月	3		
14		2026/11/30	月	1-3	(試) 実技試験	医療人育成・支援センター教員
15		2026/12/7	月	3	(講) 試験のフィードバック	安田 恵

【担当教員】

教員氏名	職	所属
青木俊太郎	助教	医療人育成・支援センター
竹林由武	講師	健康リスクコミュニケーション講座
安田 恵	助手	医療人育成・支援センター
中村光輝	助教	医療人育成・支援センター
安井清孝	助教	医療人育成・支援センター
諸井陽子	助手	医療人育成・支援センター
唐 尊一	助教	医療人育成・支援センター
亀岡弥生	教授	総合科学教育研究センター (兼) 医療人育成・支援センター
大谷晃司	教授	医療人育成・支援センター

【医師として実務経験のある教員による授業科目】該当する